

—E-ディフェンス 2005年オープンに向けて—

7月1日に建設工事の竣工式を挙行



計測制御棟玄関でのテープカット

世界最大の規模と性能を誇る実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）の建設工事は、平成12年3月4日の、震動台基礎外工事の安全祈願祭でスタートしました。その後、1213日を経た今年7月1日に竣工式を行いました。

竣工式当日は、あいにくの梅雨空でしたが、約200人が見守る中、世界最大の震動台に因んでイチイの木を受変電棟前に記念植樹した後、計測制御



竣工記念植樹

棟玄関でテープカットし、式典に移りました。式典には、会場の都合で約120人が参列しましたが、早山理事が「日建設計の設計管理の下、各社の技術力を総結集していただき、複雑困難な工事が無災害で完成したことに感謝します」との理事長挨拶を代読した後に、震動台基礎外工事他15件の工事に尽力いただいた各社へ感謝状を贈呈しました。

また、代表謝辞では日建設計、大成建設とも、「世界最大の震動台建設に参加できたことは大変名誉」と述べていました。



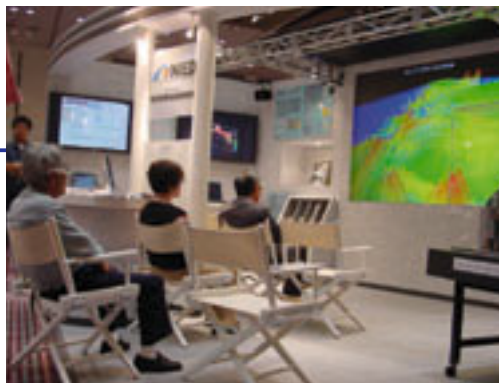
式典会場での来賓と受賞者

最後に行われた懇親会には、式典に参列できなかった人も参加し、苦労話が進む内に、飛び入りで、建設現場従事者一同からの志として、緑化樹一式目録の贈呈を受けるといふ、うれしいエピソードもありました。今後、E-ディフェンス建設現場では、震動台などの実験装置の据付工事が加速され、2005年1月のオープンを目指すこととなります。

IUGG2003に出展

7月1日～11日に札幌市で開催された第23回国際測地学・地球物理学連合総会（IUGG2003）併設展示会に出展しました。震源分布や地震動の波、火山噴火を3Dで見ることができ、アニメーションを上映し、国際学会ということもあって、防災科研を世界にアピールする良い機会となりました。

7月2日には天皇・皇后両陛下が防災科研ブースをご覧になられ、片山理



事長の説明で地震観測網と実大三次元震動破壊実験施設、雪氷防災研究を紹介しました。最後に皇后陛下より、石田研究主監の紫綬褒章受賞についてのご質問があり、関東・東海地域のプレート構造モデルの研究内容について説明しました。

実験取り入れサイエンスキャンプ 中学生ミニ博士コース開催

7月30日～8月1日に高校生を対象としたサイエンスキャンプ、8月6日～8日に中学生ミニ博士コースを開催し、各10数名の参加者が防災科研を訪れました。

両イベントとも、実験を多く取り入れ、地震計の工作・雪崩のミニチュア実験・土壌の浸透実験などをしました。これらの実験をとおして、災害を身近



に学ぶことができたと思います。特に、土壌の浸透実験は砂で手を汚しながら行い、まるで砂場で遊んでいるかのように童心に返って楽しんでいました。

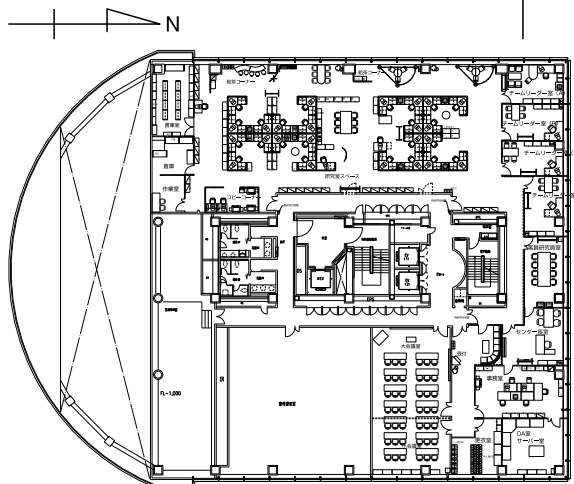
初めてのつくば・初めての友達とあって、1日目は緊張などがあり、なかなか話が進まなかったようですが、最終日には、仲良く話している姿を見ることが出来ました。このような出会いも、サイエンスキャンプと中学生ミニ博士コースの魅力だと思います。



これまで、地震防災フロンティア研究センター（EDM）が本拠としてきた三木山森林公園（兵庫県三木）は、優れた自然環境とともに、のびのびと研究活動を行う場所として、申し分のないものでした。しかしながら、神戸市中心から北西に約30kmという距離のハンディキャップは、ヒューマンネットワークを生命とするEDMにとっては、相当に大きく、今回の神戸市の東部新都心のHAT神戸への移転は研究環境の改善につながるものと期待しています。さらに、HAT神戸には、アジア防災センター、国連地域開発センターなどの防災関連機関が入居しており、移転にともないこれらの研究機関ならびに各大学との協力関係がますます深まり、多分野との融合された研究が展開されるものとして期待しています。

EDMの新施設は「人と防災未来センター」の第2期施設「ひと未来館」4階に約900m²の面積で確保されており、図に示すように、北東側に大会議室・サーバー室・事務室・センター長室を配して、西側に計4チームの研究室を集約することで、外部からの訪問者および研究員の動線を十分に意識した平面配置を検討しました。そして、これは移転後に、気がついたことなのですが、EDMの窓から眺める景色は、南側に大阪湾を望み、北側には六甲山系を仰いで、三木山公園の頃にも劣らないすばらしい景観に恵まれています。

そして、亀田センター長をはじめ各研究員に至るEDM全職員は、このすばらしい環境を提供していただいた兵庫県に感謝するとともに、今後のEDMの発展と防災分野における貢献を常に念頭に置いて、日々努力していかうと話し合っています。



地震防災フロンティア研究センター（神戸）

編集・発行／ 独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 ☎029-851-1611(代)

企画課直通☎029-863-7789 Fax.029-851-1622

E-mail◆plansec@bosai.go.jp インターネット◆http://www.bosai.go.jp

発行日／2003.10.1